

第19回 第62回 卒クラス会

第19回目となる第62回卒クラス会が広島県で開催されました。

令和元年10月6日（日）、好天に恵まれたJR尾道駅に遠方よりさまざまな交通手段で、同級生が笑顔で予定時間に集合しました。

早速、瀬戸内のクルージングをラズリという新しい船をチャーターして尾道から鞆の浦へ出航。船内では船長の楽しい観光案内が流れる中、海が見えるデッキに集まり風と波を感じながら修学旅行気分でのスタートとなりました。

ホテル鷗風亭に到着後「広島来たぞー」と海をバックに野外での記念撮影、その後は、それぞれ長旅の疲れを温泉で癒し、浴衣姿で18時半より総会が始まりました。

まずは、43名の物故者に黙祷をささげ、中野香津雄君が司会を務め、幹事長の鴨田博司君の挨拶、藤井重壽君が議長となり進行しました。峯岸博行君が前回群馬県での

クラス会収支報告、近藤健示君のクラス会会計報告、萩原和明君による監査報告があり承認されました。またクラス会役員、次のクラス会は神戸での開催も決まりました。

19時過ぎから始まった懇親会には、甲野峰基広島県歯科医師会会長にもご参加をいただき、瀬戸内の素材を使い、いろいろと心を尽くした料理長の料理に舌鼓を打ちながら、同級生の皆さんからは近況報告や楽しい話、ためになる話、体調の話、これからの話など、思い思いの話題が披露されました。

翌日の観光には22名が参加して、ベテランガイドによる楽しい鞆の浦の歴史散策、江戸時代からの風景や街並みが保存されている様子をゆっくり2時間ほど歩きながら堪能しました。

2年後の兵庫県での再会を楽しみに散会しました。

（馬越順一 記）



第19回 62回卒同窓会 令和元年10月6日 於 鞆の浦・ホテル鷗風亭